



子どもも大人も、安心・安全に過ごせる温かい「場」へ



# 手稲東中学校の取組

いじめは絶対に許さない！（令和8年度版）



子どもたちの声①  
「あいさつを活性化！」

東中の伝統 挨拶と合唱（部活動）

子どもが自己決定する舞台へ



学ぶのは仲間とのつながり=人間関係形成

①自己表現の環境づくり

多様性の保障

自己決定

心理的安全性の保障

ウェルビーイング

「大人も子どもも幸せに」

土台づくり① 「失敗OK」 心理的安全性を保障

「今のままで大切な存在」「できない自分も自分」サインの発信。  
失敗したら、やり直せば大丈夫。工夫したり頼ったりすることを支援。

公立学校としての土台 「誰一人取り残すことなく、  
全ての子どもたちに居場所と学びを保障する」

土台づくり② 「みんな違って当たり前」 多様性の尊重

あらゆる他者を受け入れ、違いを価値として認め合える場づくりを。

自律を促す具体的な対話 ②自己決定の場づくり

何かあった？（どうしたの？何が起きているの？）

どうしたい？（こうなったらいいなってある？）

これなら自分でできそうだってことは？

どんな風に先生（家族）が力を貸すといい？

子どもを主語にした、4つの対話を！

家庭だけでなく  
小学校、地域と  
ともに自己決定  
を支援

令和7年度札幌市学校教育 全ての教育活動を貫く重点

## 子どもの声を聴く

\*子ども一人一人が  
「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり！

多様性を尊重し、自走する教職員集団へ

大人も「失敗OK」。チャレンジする学校に向け、今年も挑戦から成熟へ。チャレンジする若手・中堅と、後押しするベテランが対話を重ね、全員が当事者へとなり「最優先の目標」で合意形成を。人が育ち協働する温かい学校へ！

対話  
(Talk)

信頼  
(Trust)

学び、成長  
(Training)

## 東中最優先の目標 「自律」

### 自ら考え、決定して、判断し 行動する子どもの育成

子どもたちの声③  
「生徒会の深化！」

子どもたちの声④  
「過ごしやすい  
学校づくり！」

教育活動が「全ての子どもが主語になっているか」「手段が目的になっていないか」、普段の振り返りを。

子どもたちの声②  
「学級活動を強化！」

でも、困ったときには助け合い。  
「近くに困っている人いない？」のアンテナを！

## 本校の教育目標 「頼もしい人間をめざして」

創造的な知性 豊かな心 たくましい身体

③自己実現への問い

変化の激しい社会の中で、幸せに生きる力とは

### 自律し、当事者意識をもって問題解決

生きる力 = 様々な問題を解決するために学び、協働する力\*

\*札幌市教育委員会は、この力を身に付けるために、自ら疑問や課題をもって、主体的に解決する学びとして「課題探究的な学習」の充実を推進しています。